

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：関 美絵子（雇用就農） 住所：丹波市氷上町鴨内 967 株式会社 芦田ポーターリー 年齢：48 歳</p>  <div data-bbox="536 853 762 1077" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地元の農産物を活かした、農家らしい加工品づくりに励んでいます。</p> </div>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地 : 130a（借地 30a） 施設 : 鶏舎 2 棟、菓子加工作業所 1 棟 惣菜加工作業所 1 棟 経営内容 : 採卵鶏 10,000 羽           : 水稲 80a、野菜 50a           : 加工品（菓子・鶏肉加工品） 労働力 : 本人、役員+雇用 6 名 出荷先 : 直売所、会員制食材宅配業者</p>  <div data-bbox="831 954 1390 1088" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なめらかプリンテレビ取材を初めて受けた時の一枚。 みんなでプリンを持って PR しました。</p> </div>
<p>就農から現在まで</p> <p>2014 年 離職 2014 年 (株)芦田ポーターリーに雇用就農 2018 年 ひょうご農業 MBA 塾修了</p> <p>現在の業務 →企画部長として、平飼卵のブランド化や加工品開発・製造・営業に従事。 また、各部門間の調整といった労務管理マネジメント、研修生の受入窓口、指導業務の総括を行っている。</p>	<p>就農して良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点、嬉しかったこと 社長が本人の自主性を尊重してくれるため、自身の「やりたい」ことを積極的に取り組むことができている。社長が目指したい方向と、自身が取り組みたい方向が合致すると、目標達成に向けて相互に「やり取り」ができる。</p> <p>○苦労した点 農業はもちろん、養鶏のことも全く知らずに飛び込んだため、会社の方針を理解するのに時間を要した。</p>
<p>農業をめざした動機・きっかけ</p> <p>前職の取引先であった(株)芦田ポーターリーが 6 次産業化に挑戦していると聞き、自身も本格的に 6 次産業化に取り組みたいと感じた。芦田ポーターリーでの仕事を通じ、6 次産業化だけでなく、1 次産業のことをもっと勉強したくなり、就職することとなった。</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <p>雇用就農の場合は、就業先との「相性」をお互いに見極めることが重要です。また、会社の方針の中に自分の目指す方向をどのように位置づけ、自身がどう関わっていくか考えることが大切です。物事には積極的に取り組み、社長＝会社に「信頼」して仕事を任せてもらえる存在になってください。</p>